

令和6年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	02_青森県
市区町村名	02384鶴田町
自治体区分	

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先
02384鶴田町	③学校と家庭の課題	02 放課後等における多様な体験活動	教育課程の実施に当たって、地域の人的・物的資源を活用したり、放課後や土曜日等を活用した社会教育との連携を図り、学校教育を学校内に閉じずに、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させる。	常駐する推進員は、学校と地域の連携調整等を行い、通学指導や総合的な学習の時間の計画・運営、授業の補助等、教員の業務負担軽減を図ったり放課後や土曜日等を活用した子供教室の実施。	よりよい学校教育となるように役割分担の明確化により、地域との協働が進み、教員の業務負担の軽減とともに、これからの社会を割り出していく子どもたちが社会や世界に向き合い、関わり合い、自らの人生を切り開いていくために求められる資質・能力とは何かを、教育課程において明確化し育んでいく。	地域学校共同活動に関わる地域住民数(地域共同活動推進咽喉の優勝スタッフ以外で年間延べ日数。	地域学校共同活動に関わる地域住民の数(地域学校協同活動推進員の人数。	120	人	200	103	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められ 小学校においては、総合的な学習の時間の計画・運営、授業の補助等を実施するあたり、推進員が地域の人材を講師やボランティアに迎え実施したことにより、教員の業務負担軽減を図るとともに、地域に開かれた学校への一定の効果が見られたが、活動が積極的に行われなかったことが目標未達成原因であると思われる。次年度においては、新たに事業計画等を見直し、役割をする推進を配置することにより一層小中学校の連携を強化し、活動が活発になることが予想される。	http://www.town.tsuruta.lg.jp/kyouiku/post-855.html

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。